

# このほんしる

ねんばん 1・2年版 No.198 たんてい・なぞの本ほん

めいたんていポアロン -ぬすまれた くびかざり-

みたむら のぶゆき おおさわ さちこ  
三田村 信行 / 作 大沢 幸子 / 絵 (講談社)

まち  
町でレストランをして  
いるポアロンは、もと  
たんてい。今でもむずか  
しいじけんがあると、ブル  
トンけいぶが、ちえを  
かりにやってきます。

こんかい  
今回は、ミシュランさん  
のパーティーで、ダイ  
ヤのくびかざりがきえてしま  
ったじけんです。



きょうばし 京橋 (3543) 9025  
ちゅうおうくりつ 中央区立 日本橋 (3669) 6207 としょかん 図書館  
つきしま 月島 (3532) 4391

●ホームページアドレス  
<http://www.library.city.chuo.tokyo.jp/>

刊行物登録番号 23-004

# きえた<sup>くさ</sup>草のなぞ - めいたんていネート -

マージョリー・W・シャーマット / 作 マーク・シマント / 絵

じんぐう てるお  
神宮 輝夫 / 訳 (大日本図書)

ぼくは、めいたんていネート。

今回の<sup>こんかい</sup>じけんは、<sup>とも</sup>友だちのオリバーがなくした『スーパーざっそう』をさがすこと。

ぼくのすいりによると、草は、<sup>かぜ</sup>風で<sup>ちゅうごく</sup>中国までとんでいったようだ。

ところが、<sup>おも</sup>じけんは思わぬほうこうへ…。



# たんたのたんてい

なかがわ  
中川

り え こ  
李枝子 / 作

やまわき  
山脇

ゆ り こ  
百合子 / 絵

(学研教育出版)

たんたが、<sup>あさはや</sup>朝早く<sup>しんぶん</sup>新聞をとりにゆうびんうけ<sup>い</sup>に行くと、<sup>はい</sup>入っていたのは、にんじんはみがきのチューブでした。なぞをとくために、うさぎの家<sup>いえ</sup>に行ってみると、にんじんはみがきがあるはずのところには、かゆみどめのチューブがありました。

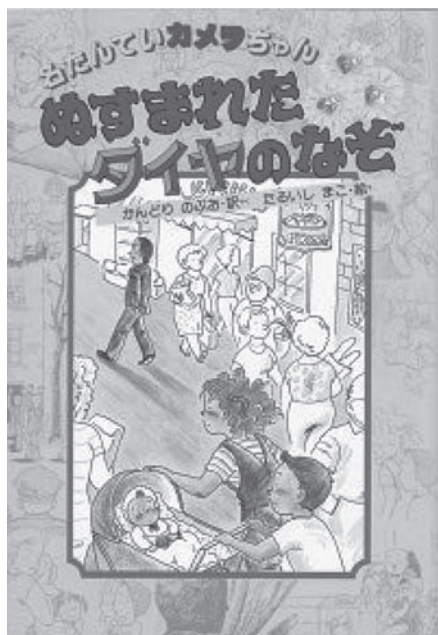
いったいだれが…。



ぬすまれたダイヤのなぞ <sup>めい</sup> -名たんていカメラちゃん 1-  
ディビッド・A・アドラー / 作 たるいし まこ / 絵  
かんどり のぶお / 訳 (国土社)

カメラちゃんは、<sup>み</sup>見たものをしゃしんにとったみたいにおぼえてしまう女の子。<sup>おんな</sup> <sup>こ</sup>

ある日、<sup>ひ</sup> ほうせき店<sup>てん</sup>でごうとうじけんがおきました。カメラちゃんとエリックは、<sup>みせ</sup> 店<sup>で</sup>から出てきたあやしい男<sup>おとこ</sup>のあとをおいかけますが…。



# ゆき うえ 雪の上のなぞのあしあと

あべ ひろし  
弘士／作（福音館書店）

ぼくは、どうぶつえんのしいくがかり。ある冬<sup>ふゆ</sup>の  
よる夜、ぼくがとまりこみで見<sup>みまわ</sup>回りをする日<sup>ひ</sup>に、じけん  
はおこった。

『な、なんだっ？ このあとは！』

雪の上<sup>いま</sup>に今まで見たこともない、ブルドーザーの  
ようなあとがあるぞ。だれかが、しのびこんだのだ  
ろうか？

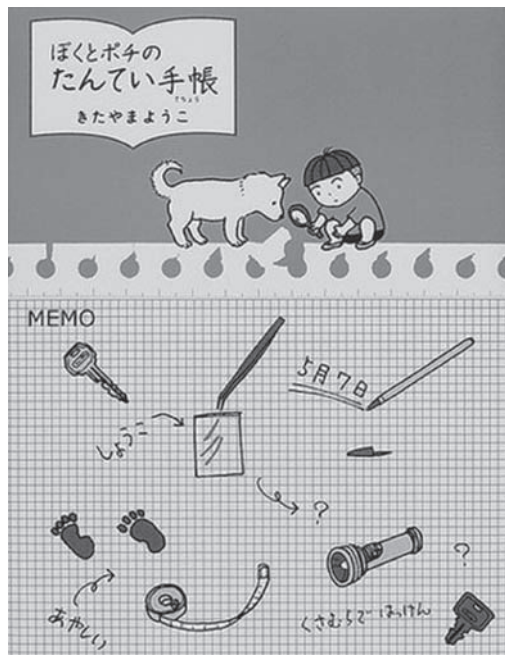


# ぼくとポチのたんてい手帳<sup>てちょう</sup>

きたやま ようこ／作（理論社）

あやしい<sup>もり</sup>森、あやしいポスター、あやしい<sup>あし</sup>足あと…。ちょうさかいし。たんていになるのに、ひつようなどうぐはなんだろう？

はん<sup>にん</sup>人をさがすための七つ<sup>なな</sup>どうぐをもって、ポチといっしょ<sup>しゅつ</sup>に出ましょう！



(2011.11)